

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

Vol.73

2014.7月-9月



アンサンブル・ラロの皆さん

音楽と私

音楽の話・輪和 Wa

うかわ先生の
おんがく談義

八月三日開催

ワークシヨップ

アピカ弦楽
アンサンブル教室

■寄稿 森 季子

十月十八日開催

第127回
びわ湖ホール
声楽アンサンブル

■寄稿 藤野 一夫

■寄稿 ヘーデンボルク・直樹

十月五日開催

第126回
アンサンブル・ラロ
ピアノ四重奏団

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

10月5日(日) 第126回しばざくらコンサート

「アンサンブル・ラロ ピアノ四重奏団」

ヘーデンボルク・直樹

(ウィーン国立歌劇場管弦楽団チェロ奏者)

皆さま、ご無沙汰しております。2009年に西脇市で公演をさせて頂いてから5年ぶりに、また皆さまにお目にかかる機会を頂きました。今年の10月に再び「アンサンブル・ラロ」のメンバーと共に西脇にお伺い致します。この5年の間に私はウィーン国立歌劇場管弦楽団に職を得て、オペラやウィーン・フィルの公演などで急激に多忙になりました。しかしそのような日々の中でも、この「アンサンブル・ラロ」との室内楽の活動は継続して参りました。オペラやオーケストラの仕事とは全く異なる楽しさや充実感があるからです。メンバーのアレクサンダー・シトコヴェツキー(vn)、ダイアナ・ケトラー(pf)、ラズヴァン・ポポヴィッチ(va)と共に活動を続けて既に10年が経ちました。皆さまには永く一緒に演奏をしていることによってこそ生み出せる、和音の美しさやテンポ感などを楽しんで頂ければと思います。

それでは今年の公演で演奏する曲目についてご説明致します。1曲目はカミーユ・サン＝サーンス(1835～1921年)の〈舟歌へ長調 Op.108〉(1897年)です。文字通り、

舟を漕ぐ船頭が口ずさむような調子の良い曲です。10分程度の短い曲ですが、終始波間にとやうな印象を与えてくれます。4つの楽器の音の重なりが想像力をかきたてられますので、舟に乗っているような気分をイメージしながら楽しんでください。

2曲目はガブリエル・フォーレ(1845～1924年)の〈ピアノ四重奏曲第一番 ハ短調 Op.15〉(1879年)です。フォーレは生涯ピアノ四重奏曲を2曲残しています。この曲は〈ヴァイオリン・ソナタ第一番〉に次ぐ、フォーレにとっては2曲目の室内楽曲で、30代半ばに創作されました。飛びまわるように軽やかなスケルツォ、憂いを帯びたアダージョ、うねるように上昇していく華麗な三拍子など、それぞれの楽章に現れる表情の豊かさを味わってください。

3曲目はロベルト・シューマン(1810～1856年)の〈ピアノ四重奏曲 変ホ長調 Op.47〉(1842年)です。シューマンが残した唯一のピアノ四重奏曲で、快活で優雅な曲です。我々「アンサンブル・ラロ」がとても大切に、永く弾き続けている得意の曲でもあります。



(左から)ラズヴァン・ポポヴィッチ(va)、アレクサンダー・シトコヴェツキー(vn)、ダイアナ・ケトラー(pf)、ヘーデンボルク・直樹(vc)

なぜならばアンサンブルの名称はR.シューマンが音楽批評を書く時に使用したペンネーム「ラロ博士」に由来するからです。シューマンはこの人物を新しい道筋を照らすような人として描いています。私たちもラロ博士の様に、音楽という言葉で対話し、伝統的でありながら斬新な解釈で、皆さまの印象にいつまでも残るような演奏をしたいと思っています。

最後になりましたが、アピカホールで皆さまとお目にかかれますことを、メンバー一同、心より楽しみにしております。また今年はアピカ・ジュニア・ストリングスのメンバーの皆さんとも共演出来るとのことで尚更楽しみです。私たちは演奏旅行で世界中を廻っていますが、アピカホールの響きの良さ、スタッフの皆さんの温かさはどこのホールにも勝る魅力を持っていると思います。このような贅沢な環境で演奏させて頂けることを心より感謝致します。ご多忙中かとは存じますが、皆さま是非足をお運びください。

藤野 一夫

(神戸大学大学院国際文化学研究科教授)

室内楽は、音による親密な「対話」を大切にする芸術です。視覚を刺激する情報が氾濫し、音の洪水に押し流される日常生活の中で、他者との、そして自分自身との静かな対話の時間が、にわかに失われています。だからこそ「聴覚」を自由に開いて集中させ、それぞれの心の中に「像」が結ばれ、紡がれ、変化してゆく、いわば「室内乐的」時間を取り戻すことが求められます。室内楽は、人と人とのコミュニケーションに不可欠の「想像力」を養う、かけがえのない場です。自分とは違う他者の声に耳をすませるという作法は、そのまま多文化共生の原点ともいえるでしょう。とくに出生地も国籍も母語も異なる「アンサンブル・ラロ」のメンバーが紡ぎ出す音楽は、多文化共生への希望と勇気を与えてくれます。

「アンサンブル・ラロ」のメンバーは世界の名だたるコンサートホールで名声をほしいままにしてきました。その一方で、それぞれの演奏家が多忙を極める円熟期を迎えています。彼らの演奏を心待ちにしてくださる方々にとっては、益々貴重な贈り物となってきたと言えるでしょう。さわやかな秋風が通う、日本で一番快適な時期にヨーロッパから届く世界最高レベルの演奏を、どうぞお見逃しなく！

びわ湖ホール声楽アンサンブル



びわ湖ホール声楽アンサンブルは、びわ湖ホール独自の創造活動の核として、びわ湖ホール開館の年、1998年3月に設立されました。全国より厳しいオーディションを経て選ばれたメンバー16名で構成される、日本初の公共ホール専属声楽家集団です。ソロのステージはもちろん、オペラのソリスト、アンサンブル、そして合唱まで幅広い分野で活躍できるプロの声楽家たちが集まり、びわ湖ホールのオペラ公演や、自主事業への出演を主な活動として年間さまざまな公演に出演しています。

また、県内のより多くのお客さまに音楽やオペラに親しんでいただくため、びわ湖ホールの舞台だけでなく、年間を通じて、県内各地のホール、学校の体育館や教室でも演奏会をおこなっています。特に2014年度は、滋賀

県内3か所のホールと共同主催でオフエンバック作曲の『天国と地獄』を上演するなど、地域のホールスタッフ、合唱団、学校等がびわ湖ホール声楽アンサンブルを架け橋としてつながり、一つの公演を作り上げていくプロジェクトを推進中です。県内に根付いた活動を行っているのもびわ湖ホール声楽アンサンブルの特徴の一つです。

最近では、嬉しいことに東京でオペラ招聘公演を行うなど、全国各地から依頼をいただくことも多くなりました。滋賀県から全国へ「音楽」の楽しさと「声楽アンサンブル」の魅力を伝えるべく、活動の幅を広げていくびわ湖ホール声楽アンサンブルにどうぞご期待ください。

びわ湖ホール声楽アンサンブル

コンサートミストレスの森季子さんにお伺いしました

Q びわ湖ホール専属声楽アンサンブルとして「びわ湖ホール」を意識して活動されておられると思いますが、それはどのようなところでしょうか？

A びわ湖ホール声楽アンサンブルはびわ湖ホールでのオペラ公演、定期演奏会など自主公演の出演に限らず、県内との繋がりも大切に行っています。

たとえば、県内各地のホールにておこなう「地域協働公演」では、共演する地域の合唱団などの稽古にメンバーが事前に参加し、一緒に公演をつくりあげます。小学生を対象としたものでは、学校の体育館などで1時間程度のコンサートを行う「学校巡回公演」、皆さんをホールにお招きして、私たちプロの歌声、本格的なオーケストラ演奏を聴いていただく「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう!」などにて、音楽の楽しさを児童の皆さまにお伝えしています。また、びわ湖ホールでは月に一度、無料のロビーコンサートを開催しているのですが、近隣や県内の皆さまが多く立ち寄ってくださいます。そういった公演に訪れた際に応援のお言葉をいただくと、びわ湖ホール声楽アンサンブルがいよいよ滋賀県に根付いてきたのだと実感し、心強く感じます。

今後も私たちの活動を通して、滋賀から世界へ、音楽の魅力を発信してゆきたいです。

Q 「琵琶湖」を讃える持ち歌をお持ちですか。それをどのような時に、どのような気持ちで歌われていますか？

A びわ湖ホールは琵琶湖畔にあり、ロビーからは琵琶湖の、天気の良い日は対岸まで、広く望めます。「琵琶湖を讃える歌」ということですが、私たちのレパートリーのひとつとして『琵琶湖周航の歌』があります。

この歌は滋賀県で広く愛されている曲で、滋賀の風景が歌詞になっています。他県での公演では、滋賀県の魅力をお伝えできる曲として、声楽アンサンブル向けに特別に編曲されたものを自己紹介がわりに歌わせていただいております。

森 季子(アルト)
(びわ湖ホール
声楽アンサンブル
コンサートミストレス)

※コンサートミストレスは
女性のコンサートマスターです





表現力豊かな力強い演奏

——〈アンサンブル・ラロ〉と〈東京トリオ〉—— (その1)

「神戸国際芸術祭」というのが、2006年より毎年秋に行われているのですが、皆様ご存知でしょうか。この芸術祭のメインの出演団体が「アンサンブル・ラロ」（ピアノ四重奏団）です。かつて、2009年に、ここアピカホールで一度演奏していただいたことがあり、今回は二度目の公演になります。

メンバーの構成はたいへん国際的で、ピアノのケトラーさんがバルト三国のひとつであるラトヴィアの出身、ヴァイオリンのシトコヴェツキーさんがロシア、ヴィオラのポポヴィッチさんがルーマニア、チェロのヘーデンボルク・直樹さんがオーストリアといった具合です。

従来、ヨーロッパの室内楽は、同じオーケストラのメンバー同士であるとか、同じ音楽院の出身者同士であるとか、つまり、音楽的バックボーンが同じであり、同じ音楽言語を喋る人たちによって結成されるのが普通でした。「アンサンブル・ラロ」のような音楽的背景や伝統がそれぞれ異なる人たちがアンサンブル活動を行うことがどれほどたいへんなことであるかは、想像に難くありません。

しかし、このような困難を覚悟の上で、敢えて新しいことに取り組んで、新しい創造を目指そうという団体が生まれてくることには、必然性があったように思えてなりません。最近のヨーロッパの人たちによる室内楽のコンサートを聴いていて痛感するのは、従来型の

伝統に安住しているアンサンブルは、全盛期が過ぎ去りつつあり、そろそろ生命力が枯渇しかかっているのではないかという思いです。マンネリにおちいった新鮮味に乏しい解釈、惰性で行っているような演奏は、聴く者に感銘を与えることができません。表現意欲に満ち溢れた若者たちが、そのようなマンネリズムから決別し、新しい可能性を模索しようと試みるのは、至極当然のことのように思われます。

私は2008年以来昨年の2013年に至るまでの6年間、ほぼ毎年、「神戸国際芸術祭」で「アンサンブル・ラロ」を聴き続けてきました。

作品の本質をもう一度新しく問い直そうという積極的な姿勢は、当初から感じられましたが、しかし最初の頃は、表現意欲の強さに比して、演奏技術の方が今一つ及ばないうらみがなきにしもあらずでした。ヴァイオリンのシトコヴェツキーさんは、まだ若かったこともあってただ力任せに弾いているという印象が強く、表現が一本調子で単調なきらいがありましたし、チェロのヘーデンボルク・直樹さんも、今と比べると、それほど個性が際立っているという感じはしませんでした。

ところが、ここ数年、彼らの演奏は、とみに円熟味を増しつつあるのです。

シトコヴェツキーさんは、肩の力が抜けて余裕がでてきた感じで、表現が柔軟で多彩に

なってきました。ヘーデンボルク・直樹さんは、音に深みが増してきて、独特の〈歌うような〉演奏様式が確立してきました。彼の〈歌うような〉チェロは本当に魅力的で、いつも聴き惚れてしまいます。このような魅力的なチェロを弾ける奏者は、ウィーン・フィルといえどもそうそういるわけではありません。シャイヴァイン、ヘルシャー、バルトロメイと受け継がれてきたウィーン・フィルのチェロの名手の系譜。これを受け継ぐ実力を備えている人は、現在のところ、ヘーデンボルク・直樹さんを措いては他には見当たらないように私には思われます。彼が将来、ウィーン・フィルの首席奏者の地位に就く日が来ることは、ほぼ確実視して間違いのないことでしょう。

他の二人、ヴィオラのポポヴィッチさんもピアノのケトラーさんも、揃って音色が美しく、表情豊かで、力強い表現をする人たちです。

4人の演奏水準がとても高く、粒がそろっていること、年月を経て4人の奏者の息が合

ってきてアンサンブルが緻密になっていること、人生経験を重ねることによって表現に深みが出てきたこと——これらを総合すると、「アンサンブル・ラロ」は、今が一番旬で、聴き時であるといえるかもしれません。

実は、3月28日に、アピカホールで、表現力の豊かさと力強さという点で、「アンサンブル・ラロ」にひけを取らない演奏に接することができました。

「東京トリオ」という最近結成された団体で、メンバーは、鳥羽泰子（ピアノ）、江口有香（ヴァイオリン）、江口心一（チェロ）という3人の日本人演奏家から成っています。日本人演奏家たちによるこのような充実した演奏に遭遇できるとは予想していなかったもので、少なからずショックを受けました。

今回は、「アンサンブル・ラロ」と「東京トリオ」という2つの団体の、演奏の共通点と特質を探っていきたいと思っています。

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鶴川 真

西脇ロイヤルホテル



兵庫県西脇市西脇 991 番地 〒677-0015
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

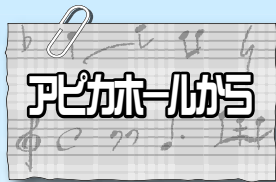
詳しくはオフィシャルホームページで >>> <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

レストラン・ラフィネ

【朝食】 7:00～10:00
【ランチ】 11:30～14:30 (L.O.14:00)
【ディナー】 17:30～21:30 (L.O.21:00)
【喫茶】 10:00～17:30

和食処・織乃里

【昼】 11:30～15:00 (L.O.14:00)
【夜】 17:30～ (L.O.21:00)



第23回 アピカ・フレッシュコンサート 🏠 2014年4月20日 🏠

本日は、ご来場 ありがとうございます。
6年半ぶりにアピカホールで演奏できてとても嬉しく思いました。
これからも周りの人に感謝しながら音楽を続けていけたらと思います。
本当にありがとうございました。
中安 悠也



森脇さん 安岡さん 笹倉さん 中安さん

本日は、コンサートにお越し下さり、本当にありがとうございました。
数年ぶりのアピカホールでの演奏は、とても楽しかったです。たくさんのお客様に聴いていただき、大変嬉しく思います。
たくさんの方に応援していただき、この舞台に立つことができました。本当にありがとうございました。
これからも、アピカホールのご発展を心よりお祈り申し上げます。 森脇 愛

本日はお忙しい中、コンサートにお越し下さりありがとうございます。
久しぶりに地元 西脇で、皆様の温かい応援の中で演奏することができ、感激しました。
アピカホールの皆様、実行委員の皆様にはいろいろとお世話になり感謝申し上げます。
これからも、今日のコンサートを励みに、日々努力していきたいと思ひます。 笹倉 奈子

本日は、フレッシュコンサートにお越しいただきありがとうございます。
たくさんの方に支えていただき、この舞台で演奏できたことをとても嬉しく思います。
今日のことを胸にこれからも励んでいきたいと思ひます。本当にありがとうございました。
皆様のご発展を心よりお祈り申し上げます。
安岡 真理子

小学1年生から中学3年生まで

ヴァイオリンを弾いてみよう！

楽器がなくても大丈夫！

ヴァイオリン ワークショップ

弦楽器に興味はあるけど・・・触ったこともないけれど・・・。
初めての子どもたちも みんなで弦楽器を体験しましょう。

と き：8月3日(日)
と ころ：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
定 員：30人程度(1回の定員は、5～10人を予定しています。)
時 間：60分
内 容：
ステップ1→ヴァイオリンの音色を聴いてみよう！
ステップ2→ヴァイオリンを触ってみよう！
ステップ3→ホールで演奏してみよう！
※アピカ・ジュニア・ストリングスが演奏をお手伝いします。

指 導 者：アピカ・ジュニア・ストリングス講師

藤井允人先生 西山枝里先生

参 加 費：1,000円(当日ご持参ください。)

対 象：北播磨地域(西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町)在住の
小学1年生～中学3年生

申 込 み：所定の用紙に必要事項をご記入の上、7月19日(土)までにアピカホールへ
お申し込みください。(FAX可)

そ の 他：参加時間等の詳細は、申込締切後にお知らせします。

申込・問合せ 西脇市立音楽ホール「アピカホール」 ☎677-0015 西脇市西脇991
TEL:0795-23-9000 FAX:0795-23-9031(休館日：毎週水曜日)



プロフィール

藤井允人(ふじい まさと)先生 西山枝里(にしやま えり)先生
・元大阪フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター 西脇市出身・在住、西脇小学校オーケストラ部にて、ヴァイオリンを始め、大阪音楽大学、同大学専攻科を修了
・現在、栗東さくらジュニアオーケストラアカデミー校長

ミニミニお得情報！

第126回しばざくらコンサート
「アンサンブル・ラロ ピアノ四重奏団」
10月5日(日)

現在
販売中!!

第127回しばざくらコンサート
「びわ湖ホール声楽アンサンブル」
10月18日(土)

お得情報

前売セット券を
ご購入いただいた方限定。

特典1 2公演 同時購入に限りチケット代を500円割引！
特典2 自由席のコンサートが、指定席に!!

詳しくは「アピカホール」まで・・・☎0795-23-9000

アピカホール 検索 ◀ホームページでもご覧いただけます。

8月23日(土) 第18回「リトルピアニストの大っきなコンサート」

今回も74名のリトルピアニストたちが、アピカホールにあるスタインウェイピアノで日ごろの練習の成果を発表いたします。お知り合いの子どもたちも出演しているかもしれませんね♪どうぞお気軽にご来場ください。

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAKI CONSTRUCTION CO.,LTD.



☎677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

KOBE
STYLE
Kitchen & Reform

www.kobe-style.co.jp

〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中6-9 TEL:078-857-8424
神戸ファッションマート10F FAX:078-857-8425

音楽の 話・輪・和・Wo

音楽と私

村岡 さゆり

私が音楽と関
わるようになって、
たきっかけは、

お世話になった保育士さん
の勧めでピアノを習い
始めたことでした。恥ず
かしいことに、家での練
習はあまり好きでなく、
今思えば、先生泣かせの
生徒でした。一緒に習っ
ていた友達の曲を聴いた
り、発表会で弾かれるモ
ーツァルトの「キラキラ
星変奏曲」やメンデルス
ゾーンの「狩の歌」など
を聴いたりして、「こん
な曲があるんや、私もい
つか弾いてみたいなあ」
と、色々な曲に出会える

ことを楽しんできました。
中学生になり、フォー
ソングやラジオから流れ
てくるポールモーリアの
曲に魅せられ、カセット
テープに録音し、何回も
聴きました。高校では、
ニューミュージックに夢
中になりました。

こうして、音楽が大好
きになり、後々音楽を続
けていくことにつながっ
たと思います。短大で過
ごした2年間は、朝から
晩までピアノ練習と合唱
に没頭する厳しいものと
なりましたが、同時に音
楽を共有できる仲間に出
会えた充実した学生生活
となりました。

5月の早朝、畑の夏野
菜に水やりをしていると、
ラジオからたまたまウィ

ーン少年合唱団の「花は
咲く」が流れてきました。
ボーイソプラノのやわら
かい声がなんとも言えず
きれいでした。トマトや
キュウリの苗にも、じょ
うろの水と一緒に、この
美声を降り注いでやりた
いなあと思いました。

きっかけは何であれ、
音楽を始めた子どもたち
が、その子らしく音楽を
表現できるように手助け
をしていきたいと思っ
ています。子どもたちが見
せてくれる音楽の新しい
世界に、私も一緒に楽し
みを感じつつ、共に日々
成長していきたいです。

(西脇市野村町在住
アピカホール
ボランティアスタッフ)

編集後記

ホール企画の温かいコンサートを振り返って2つビ
ックアップします。

♪「弘中孝と子どもによるピアノ・デュオ・コンサ
ート」で、かつて弘中先生と連弾をされた子どもたち
が大きくって、『フレッシュコンサート』でピアノ
を弾かれました。奇しくも会場に指導者の弘中先生、
このコンサートを企画された宮澤氏そして、お二人と
親交のある弦楽アンサンブル教室指導者の藤井先生が
駆けつけてくださいました。演奏会終了後、出演者の
みなさんとの交流があり、長年にわたってホールが取
り組んでいる子ども支援の企画が花開いたようでした。
♪アピカホールから会場を西脇市民会館に移して、

大阪市音楽団の吹奏楽による輝くサウンドを聴くこと
ができました。中学生、高校生が各学校の制服姿でた
くさん来られ（もちろん大人も）、みなさんと音楽の
あるひと時を一緒に過ごしました。643人が同じ会場
に集うのは、何年ぶりでしょうか。アンコールではラ
テンのリズムでみなさん、笑顔で手拍子!!

吹奏楽って、やっぱり、みんなで一つのものを作り
上げる、ということが魅力の一つだと思います。今回
はお客様も早くから並ばれて、スタッフも大忙しでした。

皆様をお迎えするがわのホールスタッフもチームワ
ークが良く、一つのことに向かってみんなで協力され
ていました。(Green)

●西脇市岡之山美術館 開館30周年記念

「赤松玉女-絵画の軌跡1984-2014」展

7月13日(日)~11月3日(祝・月)

伝統的でオーソドックスなテーマを、コミカル
に表現した1980年代の作品から、豊かな色彩と
暈(ぼか)された輪郭をもって捉えられた人物
たちを描いた現在までの絵画の軌跡を紹介。ま
た、子供達と共作したドローイング作品も展示。



「ICONOVogue・chanel」油彩・アクリル・麻布

開館時間 午前10時~午後5時(入館4時30分まで)
入館料 大人310円(260円)高・大学生210円(160円)
小・中学生110円(80円)(20名以上団体割引料金)
※ココロカード可
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
※8月全て開館

●アトリエ個展シリーズ

「第9回西脇市サムホール大賞受賞作家展」

VOL.5 建昌賞 ●尾崎 文彦 展
7/15(火)~8/3(日)

VOL.6 横尾賞 ●筒井 億乃婦 展
8/5(火)~24(日)

VOL.7 準大賞 ●山本 大也 展
8/26(火)~9/15(祝・月)

※アトリエシリーズは無料

※8/4(月)・25(月)展示替えのためアトリエのみ閉めています。

第10回全国公募 西脇市サムホール大賞展

応募受付中!!

公募締切 8月27日(水)

展覧会期 11月16日(日)~12月14日(日)

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

西脇市民会館

TEL.0795-22-5715

休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)

きて☆みて☆きて!

第16回「あなたが主役フェスティバル」

と き 7月13日(日) 9:30~16:30

ところ 市民会館 全館

内 容 ステージ発表、NSKのど自慢、手づくり趣味の市、
100金遊び市(金魚すくい・ヨーヨー・わたがしくじびき他)

「桂文珍独演会 JAPAN TOUR」

～一期一笑～

と き 10月4日(土) 14:00開演

ところ 市民会館 大ホール 全席指定

入場料 一律 3,000円 (当日500円増)

発売開始 7月5日(土) 9:00~

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/shiminkaikan/> E-mail: shiminkaikan@ever.ocn.ne.jp



アピカホール

催しガイド

7月～10月

休館日：毎週水曜日（祝日の場合翌日）

月／日（曜日）	催 物 内 容	時 間	入 場 料 等	主 催 ・ 問 合 せ	特 集 記 事
7/13（日）	きて★みて★きて！ 第16回「あなたが主役フェスティバル」	会場：西脇市民会館 9：30～16：30	大・中ホール 無 料 そ の 他 有 料	市民企画委員会 ^{ゼロ} 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
7/13（日）	ピアノ発表会	13：50頃	無 料	ピアノ教室 ピアチェヴォーレ 井上律子 ☎080-6141-0873	
8/3（日）	アピカ弦楽アンサンブル ヴァイオリン ワークショップ（楽器体験）	未 定	1,000円 （要申込み）	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
8/23（土）	第18回 「リトルピアニストの大っきなコンサート」	午前の部 10:00～ 午後の部 14:00～	無 料	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
8/24（日）	'10年 葉加瀬太郎音楽総監督の HATSレーベルよりメジャーデビュー 安藤 禎央 Play On Passion （エレクトーン コンサート）	16：00～	前売シングル券 2,200円 ベ ア 券 4,000円 当日シングル券 2,700円 ベ ア 券 5,000円 前売券完売の場合当日券はありません。	（株）北条楽器 ☎0790-42-0697	
10/4（土）	「桂文珍独演会 JAPAN TOUR」 ～一期一笑～	会場：西脇市民会館 14：00～	全席指定 一律 3,000円 （当日3,500円）	市民企画委員会 ^{ゼロ} 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
10/5（日）	第126回 しばざくらコンサート 「アンサンブル・ラロ ピアノ四重奏団」	15:00～	一 般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2・3 P6・7
10/18（土）	第127回 しばざくらコンサート 「びわ湖ホール声楽アンサンブル」	15:00～	一 般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P4・5
10/19（日）	コーラスとマンドリンのジョイントコンサート	14：00～	無 料	「ふろつぐえこうず」 松浦久代 ☎0795-32-4191	

- ★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。
- ★アピカホール主催の有料コンサートにご来場のお客様に限り、アピカ地下駐車場の3時間無料駐車サービスを行います。
- ★アピカ地下駐車場の出庫ゲートが7月上旬に新しくなります。現在の駐車サービス券は使用できなくなります。ご注意ください。

■編集：ボナンタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ボナンタゴン：こんにちは
（エスぺラント語）

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/>
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2014年6月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ボナンタゴン 検索 ←ホームページでもご覧いただけます。